

自主防災組織等活性化推進事業

1,892千円
(危機管理課)

住民自治による避難所運営モデル事業

小学校区などを単位とした自主防災組織の結成を進め、大規模災害時に住民自治による避難所運営が実施できる防災体制を整備するため、美和小学校区をモデル地区として、自主防災組織の結成および避難所運営に関する研修・訓練を実施します。



モデル事業第1回の取り組み「避難所運営ゲーム」の様子（令和5年7月4日 美和小学校）

官民連携まちなか再生事業

3,500千円
(企画振興課)

牛窓地区において、地域資源を最大限に活かした魅力と活力あるまちなかを創造することを目指し、エリアプラットフォームを中心に、未来ビジョンの新規策定を行います。

SDGs推進事業

2,000千円
(企画振興課)

「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」を活用し、市内小学校などでの出前授業の開催や事業アイデアの募集・表彰、カードゲームのバージョンアップを行います。また、市内の関係者による地域プラットフォームを構築し、地域主体の制度の継続とSDGsに取り組む機運を醸成します。



学校給食共同調理場運営事業

115,000千円
(市内学校給食調理場課)

物価高騰による保護者の負担を軽減するため、感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、小学校・中学校の給食費を令和5年9月分から令和6年3月分まで無償化します。

農村地域防災減災事業

10,000千円
(建設課)

庄田地区のため池（新池）について、地震・豪雨などに備え、国の補助事業を活用して、耐震調査を行います。



令和5年6月市議会定例会で審議された補正予算などの主な事業を紹介します。

議案特集

地域電力会社設立の準備を進めます

脱炭素先行地域づくり事業（生活環境課）

4,060千円

●ゼロカーボンシティの実現に向けて、脱炭素化の取組と地域課題の解決につなげるために設立を予定している地域電力会社の運営計画の策定を行います。

瀬戸内市は、2050年までに市内の二酸化炭素（CO2）排出量実質ゼロにするため、市民や事業者とともに、ゼロカーボンシティの実現に向けて取り組むことを令和3年2月に宣言しました。この脱炭素を進める取り組みとして、昨年度、環境省の重点対策加速化事業に加え、本年4月28日には、同じく環境省の脱炭素先行地域づくり事業にも選定されました。

脱炭素先行地域づくり事業は、エネルギーの地産地消を進めて、市全域の脱炭素につなげていく計画としており、今後、設立を予定している地域電力会社が主体となって進めていく予定です。

この地域電力会社は、発電事業だけでなく、効率的に脱炭素を進めるための地域のエネルギーマネジメントを担っていくことを目標としています。

地域電力会社の立ち上げにあたっては、会社の事業の詳細、収支計画、資金計画といった具体的な運営計画を、客観的な視点で、当該事業の実現性、採算性、持続可能性などを照査、分析検証し、出資の判断が得られるレベルに精度を高めたうえで、市および共同提案者などの出資につなげる必要があります。



脱炭素先行地域選定証授与式の様子（令和5年6月7日）

瀬戸内市がめざす「地域電力会社」とは？

地域内の再生可能エネルギーによる電力を地域内の公共施設や民間企業、家庭に電力を供給する、地域に密着した電力会社で、エネルギーの地産地消と、エネルギー代金の域内循環を目指します。



STOP・地球温暖化

太陽光パネルなどを設置する人へ補助金を交付しています

瀬戸内市では、市内の脱炭素化を推進するため、自宅に太陽光発電設備・定置用蓄電池・電気自動車等・充放電設備等を設置する人に対して補助金を交付します。

この市民向けの補助金制度は、環境省の交付金を活用し、令和5年度から令和9年度まで実施します。太陽光パネルの設置を予定している人はぜひ補助金の利用を検討ください。詳しくは市ホームページをご確認ください ▶

